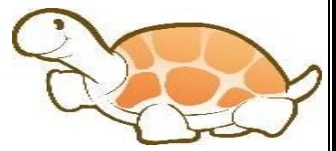




のこのこたより

令和5年3月 第95号



社会福祉法人見宝会

特別養護老人ホームあじさい園 宝

住所：奈良市南肘塚町99番1

電話：0742-24-0878 fax：0742-23-0373

群馬医療福祉大学

山口智晴教授の講座原文の一部より

「福祉の分野でいう「自立」とは、その人が自分の能力を活かして主体的に社会の中で生活を営むことであり、動作が自分一人で行えるという意味ではありません。認知症があれば、今までと比べて生活でのつまずきも増して不便なことは増えるでしょうが、それが不幸とは限りません。認知症になったのはその人の連続している人生の一部のイベントなので、認知症になってもその人が主体的に社会に参加できる環境があることが重要です。」

認知症という言葉をもっとポジティブにとらえる社会になるよよいと思っています。昔はがんが見つかったら、本人には伝えず、家族に告知され、最期に本人がうすうす気付くという時代もありました。しかし、今ではがんサイバーという言葉もあります。認知症を排除するのではなく、ともに生きる社会になれば救われる人もたくさんいると思います。認知症は「恥」「隠すもの」という偏見が残っているからこそ、「ご本人にも、隠そうと取り繕う心理が働きます。歳をとれば誰でもがなる可能性を秘めているからこそ、認知症を診断されたらお互いさま。」認知症って診断されたから、忘れるよー」と周囲に宣言できるくらい安心して忘れられる社会になれば、取り繕い反応も少なくなるかもしれません。きつとがんに対する社会の考え方が変わってきたように、認知症に対する社会の考え方も、前向きに変わっていくことを期待しています。そうすれば、認知症とともに、もっと幸せに生活できる社会になるのだと思います。」

認知症になっても幸せに生活できる地域づくりを、地域の皆様と一緒に考えていくことも、社会福祉法人の大事な責務です。あじさい園、あじさい園宝、オレンツカフエ水門のお便りやホームページを通して、認知症や認知症ケアについて情報公開し、理解を深める活動を継続してまいります。

また、令和5年4月3日、南肘塚町の特別養護老人ホームあじさい園宝の敷地内に、グループホームあじさい園宝(認知症対応型共同生活介護)を開設します。

理念を胸に努めてまいります。今後ともご指導ご支援をよろしくおねがいいたします。

福笑いに挑戦！ご利用者は、目隠しをして真剣に、おかめさんのお顔をべっぴんさんに仕上げてくださいました。

2023年のおみくじは、皆様大吉を引かれました。今年も縁起がいいですね。



お誕生日おめでとうございます。スタッフの手作りのリボンフラワーのプレゼントに満面の笑顔で記念撮影！



リモートでの脳の活性化エクササイズに参加！寒い中での参加となりましたが、多くのご利用者様が楽しめました。「体が温まって良かったわ」嬉しい声が聞こえて賑やかな会となりました。

2月3日の節分メニューでは、手作りの恵方巻やいわしの生姜煮を召し上がっていただきました。皆様「美味しいわ！」と完食されました。春の訪れが待たれます。



今年も、宝に赤鬼さん、青鬼さんが登場してくれました。手作りの豆をまいて「無病息災」を祈りました。



3月行事予定

3日：おひなまつり

17日：お誕生日会 15:00



いつもご協力、ご支援ありがとうございます。
敷地内工事のため近隣の皆様にはご迷惑をおかけしております。
3月19日(日) 13:00より、グループホームあじさい園 宝の見学会を行います。
14時よりバイオリンコンサートをいたします。どうぞお越しください。

第71回 気を付けよう！あなたをむしばむ虫歯のこと②

☆虫歯を放置すると、どうなるの？

口臭がひどくなる、顎の骨に膿が溜まる、全身疾患への影響、などがあります。

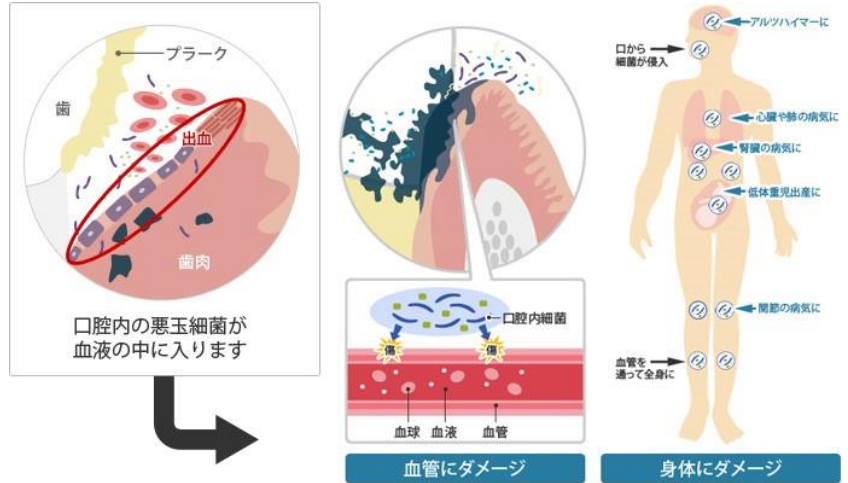
最悪の場合は死に至ることもあります。

放置した虫歯が引き起こす代表的な症状

虫歯を放置していいことはひとつもありません。むしろ、痛みや治療期間の長期化、費用面など負担が増えるだけです。虫歯を放置して起こるさまざまな症状をお話します。

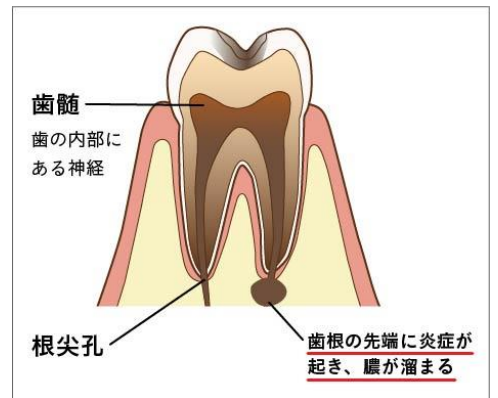
・菌原性菌血症

口内の傷、歯茎の傷から血中に口内細菌が侵入し、血流によって全身へめぐり始める状態のことを示します。良好な健康状態であれば、すぐさま状態が悪化することはありませんが、体調を崩したり、持病がある人は免疫機能が機能せず「脳梗塞」「心筋梗塞」「動脈硬化」などの症状を引き起こしたりします。全身をめぐる細菌に体の免疫機構が敗北すると最悪、死に至ることもあります。



・根尖性歯周炎

虫歯が進行し、歯髄が死んで(失活して)「歯髄壊死」の状態になります。さらに放置を続けると歯の内部(髄腔と呼ばれる、歯髄が入っている部分)に停滞する多数の細菌によって、壊死した歯髄が腐敗してしまい、「歯髄壊疽」の状態になります。やがて、細菌は歯の根っこ(歯根)まで到達し、歯根の先端で炎症を起こします。歯を支えている顎の骨が溶けているため、強い痛み、腫れ、発熱、吐き気などの症状が現れることがあります。さらに進行すると、歯根の先端に膿が溜まり、膿が溜まった部分が赤く腫れあがったり、歯茎にできた穴から口内に出てきたり、皮膚に穴ができて膿が外へ出てくることもあります。根尖性歯周炎が悪化し、体の中に生じた病的嚢胞(体内にできる液体を含む袋状のもの)を形成してしまうと、菌をなくすための抗生物質の点滴が必要となるため、歯科医院ではなく大学病院にて入院治療となることもあります。そのうえ、重症な場合、上顎では眼や脳へのえいしょうもあることもわかっています。最悪の場合は、敗血症を起こして命を落とすこともあります。**とくに糖尿病の持病がある人は、虫歯や歯周病の進行が早くなる**ことがわかっていますので早期の治療が重要です。



☆日々のケアが早期発見にもつながります！

虫歯の進行が進み、やむをえず歯を抜かなくてはいけなくなることがあります。歯を抜くと、その歯を補うために「入れ歯」「ブリッジ」「インプラント」などの治療が必要になります。噛み合わせにも影響するので、歯を抜いたところをそのままにしていると、歯が倒れてきたり、飛び出てきたりします。しかし、どの治療も一生ものではありませんので、メンテナンスが重要なのです。そうするとまた費用や時間もかかります。人間誰しもが、年を重ねていくことで歯がもろく、弱くなってしまいます。それにより歯のトラブルが起こることは仕方がないことですが、**比較的若いうちは日頃の歯磨きでそのリスクは大幅に抑えられます**。しっかりケアして、異常を感じなくても定期的に歯科医院で歯を診てもらいましょう。虫歯や歯周病の早期発見があなたの歯を救うことになります。